

2026年 9 月 10 日

会 社 名 e B A S E株式会社
(コード番号: 3835 東証プライム市場)
本社所在地 大阪府大阪市北区豊崎五丁目4番9号
代 表 者 代表取締役社長 岩 田 貴 夫
問 合 せ 先 取 締 役 窪 田 勝 康
執 行 役 員 C F O
電 話 番 号 (06) 6486-3955 (代表)
U R L <https://www.ebase.co.jp/>

コープ商品情報開示の DX・CX 向上を支援！ 生活協同組合コープこうべが「e食住ナビforDX」を採用し、 コープ商品の消費者向け情報開示を開始

～ 組合員が商品の原材料・アレルギー物質・栄養成分をいつでも確認できる環境へ ～



The graphic features a central white circle with the text "e食住ナビ forDX" and "生活協同組合コープこうべ が採用". To the left, a list of search functions is shown: "・ワード検索", "・カテゴリ検索", "・バーコード検索", "・アレルギー除外検索", and "・5言語対応". To the right, a smartphone displays the app's interface with various product categories like "野菜・果物", "肉類", and "お米・パスタ". The background is orange with the text "組合員が商品の 原材料 アレルギー物質 栄養成分 をいつでも確認できる環境へ".

パッケージソフトウェア開発、及び商品情報データプールサービスを展開するeBASE株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：岩田貴夫、以下eBASE）は、生活協同組合コープこうべ（本部：神戸市東灘区、組合長理事：岩山利久、以下コープこうべ）が、組合員向けにコープ商品の詳細な情報をオンライン開示・提供できるソリューション「e食住ナビforDX」を導入し、運用を開始したことをお知らせいたします。

本取り組みでは、コープこうべが組織内で運用する商品規格書データベース「FOODS eBASE」の公開対象データを、消費者向けの商品情報開示サイトへ連携することで公開します。組合員はコープ商品（PB: Private Brand）の原材料や原料原産地、アレルギー物質、栄養成分などの詳細な情報を、スマートフォンやパソコンからいつでも確認できるようになります。デジタル技術による商品情報開示で、組合員におけるCX（顧客体験: Customer Experience）向上、及び情報公開業務のDX（Digital Transformation）の推進を目指します。

「コープこうべ 商品情報検索サイト」

<https://enavi-coopkobe.ebase-jp.com/eshokujyudx/>

「e食住ナビ/ e食住ナビforDX」の詳細はこちら

https://www2.ebase-jp.com/eshokujyu_navi/

「生活協同組合コープこうべ」の導入事例はこちら

<https://eb1.jp/s?YILLVHYOTLXCVIMCTAUGTGVDXIULSJTE>

➤ 「e食住なびforDX」導入の背景

コープこうべでは2018年よりeBASEのWeb開示システムでコープ商品の情報を公開してきましたが、運用を重ねるなかで、画面構成がユーザーフレンドリーではない（視認性）、検索方法がワード検索またはカテゴリ検索のみである（利便性）、商品検索にしか利用できず店舗単位での活用に向いていない（拡張性）という3点が課題となっていました。

食品を選ぶ際に消費者が確認したい商品情報は、価格や産地にとどまらず、原材料、原料原産地、アレルギー物質、栄養成分などへと広がっています。とりわけプライベートブランド商品は、組合員にとって「誰が、どこで、何を使ってつくったのか」を知りたいというニーズが高い商品群です。コープこうべはこれらに 대응するため、商品規格書データベース「FOODS eBASE」から消費者向けサイトまでを一本の連携で結ぶ「e食住なびforDX」を採用しました。

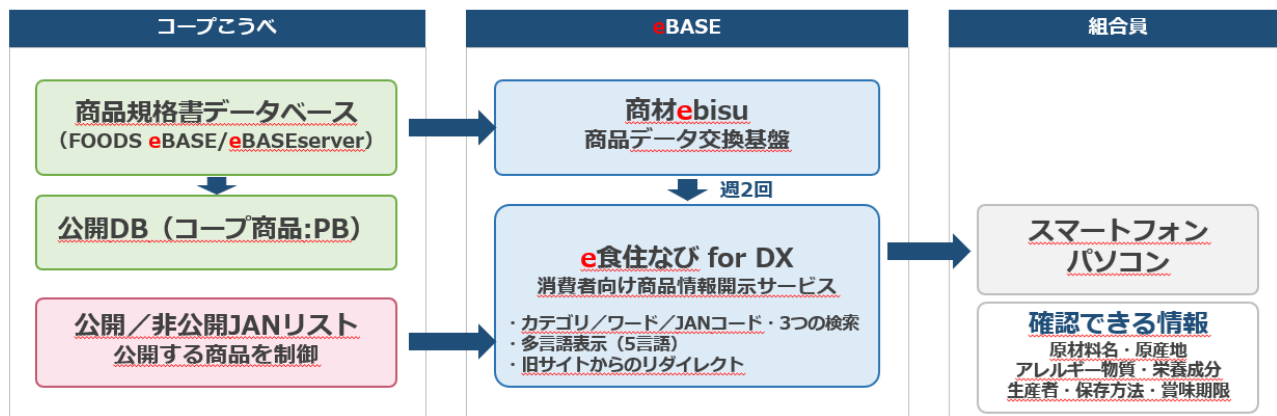
➤ 「e食住なびforDX」による課題解決

eBASEでは、業界別の商品詳細データプールサービス「商材ebisu / 業界ebisu（食材ebisu、日雑ebisu、家電ebisu、工具ebisu等）」の豊富なデジタルコンテンツを、企業間（BtoB）だけでなく、最終消費者（Consumer）へもシームレスに届ける「BtoBtoCビジネスモデル」を「2nd eBASE事業（e食住シリーズ）」と名付けて普及推進しています。

本取り組みでは、コープこうべの食品の品質管理システムである商品規格書データベース「FOODS eBASE（eBASEserver）」の公開対象データを、商材データ交換基盤「食材ebisu」を経由して「e食住なびforDX」へ連携するトータルソリューションを提供しました。公開対象の商品情報は適切なサイクルで公開サイトへ反映され、商品の改廃や規格書の更新に連動します。また、公開・非公開の対象商品をJANコード単位のリストで管理することで、事業会社単位・店舗単位で取り扱う商品に応じた情報公開にも拡張対応できるようになりました。

◆ 「e食住なび for DX」によるコープ商品の情報開示

社内の商品規格書データベースから組合員のスマートフォンまでを、一本の連携で結びました。



※公開対象の商品情報は週2回のサイクルでサイトへ反映され、商品の改廃や規格書の更新に追従します。

凡例 商品規格書データベース eBASEのサービス 公開制御 組合員の閲覧環境

コープこうべは、共通プラットフォームである「e食住なびforDX」を利用することで、短期間でコストパフォーマンスの良い導入・運用を実現しました。旧サイト（Web開示システム）からの改善点は、視認性・利便性・拡張性の3点に整理されます。

◆旧サイト(Web開示システム)からの改善点

視認性・利便性・拡張性の3点で、組合員が商品情報にたどりつきやすい環境になりました。

観点	旧サイトの課題	新サイト（e食住なび for DX）の改善点
視認性	画面構成がユーザーフレンドリーではなかった	よりユーザーフレンドリーな画面構成に更新し、スマートフォン利用も視野にユーザビリティを向上
利便性	検索方法がワード検索またはカテゴリ検索のみだった	従来の検索方法に加え、スマートフォンのカメラを利用したJANコード読み取り検索が追加された。さらに多言語表示にも対応した
拡張性	拡張性がなく、商品検索のみしか利用できなかった	対象商品を利用したレシピ、店舗単位のデジタルチラシ取り扱い情報、さらにレシート情報管理まで拡張できる基盤が整った

凡例 旧サイトの課題 新サイトでの改善

具体的には、組合員は「カテゴリから探す」「商品名・メーカー名のワードで検索する」「スマートフォンのカメラでJANコードを読み取る」の3つの方法でコープ商品にアクセスできます。また、除外したいアレルギー物質を指定した絞り込みにも対応しました。商品詳細では、商品画像、ブランド名、商品名に加えて、原材料名、アレルギー物質表示（29品目）、栄養成分表示、主な原材料の産地、内容量、保存方法、賞味期限、生産者、原産地、JANコード、最終更新日などを表示します。

◆組合員の商品情報の探し方と、確認できる情報

3つの探し方で知りたいコープ商品にたどりつき、原材料からアレルギー物質・栄養成分まで確認できます。

■ 3つの探し方

1. <u>カテゴリから探す</u> 商品画像とアイコンで分類を表示
2. <u>ワードで検索する</u> 商品名・メーカー名から検索
3. <u>JANコードを読み取る</u> スマートフォンのカメラでバーコードを読み取る
<u>アレルギー物質による絞り込み</u> 除外したいアレルギー物質を指定して検索できる

■ 商品詳細で開示する情報

商品画像／ブランド名／商品名	原材料名
アレルギー物質表示（29品目）	栄養成分表示
主な原材料の産地	内容量／保存方法／賞味期限
生産者／原産地	JANコード／最終更新日

※ 値が登録されている商品について表示されます。

公開サイト <https://enavi-coopkobe.ibase-jp.com/eshokujyudx/>

凡例 探し方 絞り込み 開示する情報

さらに、日本語に加え、English（英語）／簡體中文（中国語簡体字）／繁體中文（中国語繁体字）／한국어（韓国語）の合計5言語の表示に対応し、日本語を母語としない組合員や来訪者も、同じ商品情報を自身の言語で確認できるようになりました。なお、旧商品情報検索サイト（旧Web開示システム）のURLからのリダイレクトを実装し、これまで利用してきた組合員の導線はそのまま維持しています。

◆多言語表示への対応

日本語を含む5言語で、同じ商品情報を確認できる

日本語	English	簡體中文	繁體中文	한국어
-----	---------	------	------	-----

商品名・原材料名・アレルギー物質表示などを、画面上の言語切替で表示できます。

日本語を母語としない組合員や来訪者も、同じ商品情報を自身の言語で確認できます。

▶ 新サイト(e食住なびforDX)の画面例

カテゴリ画面から一覧、商品詳細まで、商品画像を伴う構成に刷新しました。

※画面は2026年8月時点の本番サイトのものです。掲載商品・表示内容は今後変わる場合があります。

▶ ① カテゴリ検索画面 (TOP)

商品画像付きのカテゴリとワード検索・JANコード読み取りの入力口



▶ ② 検索結果一覧

商品画像・ブランド名・内容量を並べて表示



📅 発売日

1~30 / 120件

🔍 絞り込み



コープこうべ商品
あじわい牛乳
1000ml



コープこうべ商品
あじわい牛乳
500ml



コープこうべ商品
毎日続けるカルシウム+鉄
1000ml



コープこうべ商品
毎日続けるカルシウム+鉄
500ml



コープこうべフードプラン
フードプラン熊本阿蘇すこやか牛乳
500ml



コープこうべフードプラン
フードプラン熊本阿蘇すこやか牛乳
1000ml

▶ ③ 商品詳細

商品画像、アレルギー物質表示、栄養成分、原材料の産地まで確認できる

コープこうべフードプラン

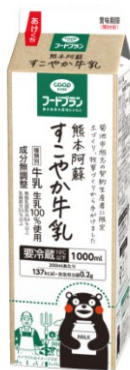
フードプラン熊本阿蘇すこやか牛乳 / 1000ml

自給する牧草やとうもろこしは自家製堆肥で栽培。熊本阿蘇の雄大な自然の中で元気な土と草、健やかな牛が育てたおいしさです。



メーカー名：生活協同組合コープこうべ

商品サイズ：幅/長辺:71mm×奥行/短辺:71mm×高さ:234mm



🔗 共有

アレルギー物質表示（29品目中）



29品目すべて表示

メーカー情報値

栄養成分表示（単位 当たり）	コップ1杯(200ml)	1製品(1000ml)	100g
エネルギー（kcal）	137	685.0	68.5
たんぱく質（g）	6.8	34.0	3.4
脂質（g）	7.8	39.0	3.9
炭水化物（g）	9.9	49.5	5.0
食塩相当量（g）	0.2	1.0	0.1
ナトリウム（mg）	85	425.0	42.5
カルシウム（mg）	227	1135.0	113.5
鉄分（mg）	-	-	-
備考			

主な原材料の産地	
生乳	熊本県

牛乳	
原材料名	生乳100%（熊本県産）
内容量	1000ml
保存方法	冷蔵庫で10℃以下で冷蔵保存してください。
賞味期限	製造日を含め16日
製造者	熊本県酪農業協同組合連合会熊本工場熊本市東区戸島5丁目10番15号
無脂乳固形分	8.4%以上
乳脂肪分	3.5%以上
殺菌方法	130℃2秒間
商品名	フードブラン熊本阿蘇すこやか牛乳
開封後の取扱	開封後は、賞味期限にかかわらずできるだけ早めにお飲みください。

商品情報	
強調・注意喚起	熊本県菊池市旭志の生産者限定。 牛の主食の粗飼料は大半を酪農家自身が栽培。 自給する飼料とうもろこしは、農業を減らして栽培。 要冷蔵・10℃以下 賞味期限は未開封の状態で、冷蔵保存（10℃以下）した場合に、味・安全性の品質が保たれる期限です。

最終更新日：2026/07/08

※「4902345999～」で始まるJANコードのうち、チェックデジットで無効となる番号はダミーJANコードとして使用しています。
※当ページの全ての商品情報の転載、複製、改変等はいかなる場合も禁止です。

JANコード	4902345493591
--------	---------------

➤ 今後の展開計画

コープこうべのコープ商品（PB商品）から公開を順次進めており、ナショナルブランド（NB：National Brand）商品についても、将来的な拡大対象として視野に入れています。あわせて、対象商品を利用したレシピ、店舗単位のデジタルチラシ「e食住ちらし」との連携によるOMO（Online Merges with Offline）展開、取り扱い情報の提供、さらにはレシート情報管理「e食住ビジュアルレシート」まで、同じ基盤の上で拡張可能な取り組みとして検討が進められています。eBASEは同組合の取り組みをシステム面から引き続き支援してまいります。

➤ 生活協同組合コープこうべの概要

名称	生活協同組合コープこうべ
所在地	〒658-8555 神戸市東灘区住吉本町1丁目3番19号
設立	1921年（大正10年）4月
代表者	組合長理事 岩山 利久
組合員数	169万8,630人（2026年3月31日現在）
事業内容	小売業・共済事業・福祉事業 ほか
URL	https://www.kobe.coop.or.jp/

➤ eBASE株式会社の概要

eBASE株式会社は商品情報に関わるデータベースソリューションパッケージソフトであるeBASEjr.、eBASEstandard、SmalleBASEserver、eBASEserver等の幅広いラインナップにより、生産者・原材料メーカー、加工メーカー、卸会社、小売会社の業態や規模にフィットしたソリューションを提供することが可能な商品情報交換データベース分野のエキスパート企業です。eBASE社の各種パッケージソフトウェアはシームレスに連携やアップグレードが可能です。商品情報に関わる様々な業務アプリケーション（「MDM eBASE」、「PDM eBASE」、「FOODS / GOODS eBASE」等）との連携を高いコストパフォーマンスで実現します。eBASE社は様々な業界（食品、日雑、医薬、文具、家電、工具、環境、住宅、アパレル等）で培った商品情報交換ソリューションノウハウを「全体最適」の視点で継続提供いたします。また、パッケージソフトウェアビジネスに加えて、その商品情報コンテンツビジネスとして商品データプールサービス「商材ebisu（食材 / 外食 / 日雑 / 住宅 / 家電 / 文具 / 工具（小売版） / 工具（卸版）等）」や「マスタデータebisu」を提供しています。更にこれら「商材ebisu」データを活用した消費者向けアプリビジネスとして、あらゆる商品カテゴリを統合したライフスタイルアプリ「e食住なび」、「e食住カタログ」、「e食住ちらし」、「e食住ビジュアルレシート」、及び住まいの設備や家電の情報をまとめて管理できるアプリ「e住なび」等、幅広く小売企業を経由して一般消費者ユーザーに提供しています。また、直近では、データ販売ビジネスとしての「DATA eBASE」、全てのeBASE製品・サービスをカバーする「生成AI」活用オプションの「AI eBASE」の提供を開始しました。

➤ 本件に関するお問い合わせ先

eBASE株式会社
TEL：06-6486-3955 FAX：06-6486-3956
E-mail：info@ebase.co.jp
URL：https://www.ebase.co.jp/